

能登半島地震の被害を踏まえた

耐震性能の重要性

～ 2025 年法改正の先を行くエコハウス・輸入住宅づくり～

エコハウスづくりを進めるうえで、断熱性能や気密性能を高めることはもちろん、耐震性能を向上させ、施主にとって真に資産となる住まいづくりを行うことが不可欠です。

しかし、2024 年 1 月に発生した「能登半島地震」の現地調査からも、耐震性能が低い住宅や繰り返し地震を受けた住宅の被害が顕著で、建築基準法で想定されているレベルでは足りないと思わされる事例が多数見つかっています。

また、木造住宅の耐震性能を考えるうえで、いわゆる「4号特例」見直しをはじめとした 2025 年法改正の正確な内容を把握することはもちろんのことですが、業界でも見逃されがちな落とし穴についても、併せてつかむことが大変重要です。

そこで、木造住宅における構造設計の第一人者である講師から、

- ①能登半島地震の現地調査から見た、真に必要な耐震性能
- ②2025 年法改正（省エネ基準適合義務化や審査省略制度の見直し（いわゆる 4 号特例縮小））で見落とされやすいポイントの紹介
- ③構造安全性と同時に合理的かつ経済設計を実現できる手法の紹介を中心に、エコハウス・輸入住宅づくりに役立つように、詳細に解説いただきます。

日 時：2024.12.6（金）14:00～16:15

講 師：（講演）株式会社 M's 構造設計 代表取締役社長 佐藤 実 氏



プロフィール：1968 年新潟県生まれ。1990 年東北工業大学工学部建築学科卒業。
㈱佐藤住建を経て、2006 年㈱ M's 構造設計設立、現在に至る。2010 年東京大学大学院修了。
2010 年「構造塾」を設立、木質構造に関するセミナー、構造計算技術者育成講座を開催、構造計算サポート業務を行っている。2020 年度は Web 講座「構造塾チャンネル」をスタートし、動画講座の視聴者は 1,500 人以上。
著書に、「最高に楽しい木構造に入門（エクснаレッジ）」、「楽しく分かる！木構造入門（エクснаレッジ）」、「ぜんぶ絵でわかる⑥建物が壊れない仕組み（エクснаレッジ）」がある。

（発表）自然災害に強い!! ROOFTG 石付金属屋根材

株式会社ルーフタイルグループジャパン エリアマネージャー 鈴木 靖浩 氏

（発表）意匠性と高耐力を兼ね備えた耐力壁「組子耐力壁」

株式会社土佐組子 営業部長 上田 道秋 氏

会 場：大阪市住之江区南港北 2-1-10 ATC ビル ITM 棟 9 階 IHPC セミナールーム

参加費：無料 定 員：40 名

スケジュール： 14:00-14:05 事務局ご挨拶
14:05-14:20 発 表 株式会社ルーフタイルグループジャパン エリアマネージャー 鈴木 靖浩 氏
14:20-14:35 発 表 株式会社土佐組子 営業部長 上田 道秋 氏
14:35-16:00 講 演 株式会社 M's 構造設計 代表取締役社長 佐藤 実 氏
16:00-16:15 質疑応答

主 催：IHPC【大阪市・アジア太平洋トレードセンター株式会社】



お申し込み：IHPC【大阪市・アジア太平洋トレードセンター株式会社】

問い合わせ TEL 06-6615-5432 大阪市住之江区南港北 2-1-10 ATC ビル ITM 棟 9 階
E-mail ihpc@atc-co.com URL <https://www.atc-ihpc.com>お申し込みは左記
QR コードを読み取り、
応募フォームから
お申し込みください。